

はじめに

女性活躍は地方創生と少子化対策の鍵

女性の活躍は、グローバル化が進む中、世界的な人材獲得や投資を巡る競争の成否を通じて日本経済の成長力にも関わります。しかしながら、我が国では、経営の意思決定に関わる役員における女性の割合は、2020(令和2)年時点で6.2%と、2012(平成24)年から8年間で約4倍に増加したものの、国際的にはまだ低い水準です。また、女性役員は社外役員が多いなど、男性役員とはキャリアが異なっている現状にあります。

とりわけ、地域経済を支えている中小企業や小規模事業者は、人手不足に直面しています。そのような中で女性活躍の推進は、優秀な人材の確保・定着につながり、企業の持続的な発展にとって不可欠です。地方圏では、近年、大都市圏へ出ていく若い女性が多い中で、女性にとって魅力ある地域を作っていくことが、地方創生と少子化対策にとっての鍵となります。

地域で連携して育成する「女性リーダー」

企業としては、女性の採用・育成・登用を着実に進め、管理職、更に役員へという女性登用のパイプラインを構築することが求められています。そのためには、地方公共団体、地域社会、経済界や労働界などが密に連携して「女性リーダー」を育成していくことが必要です。タイトルの「地域で伸ばす！女性リーダー育成ハンドブック 行政・経済団体・大学・企業が連携してつくる『学びとネットワークの場』」には、役員の候補となる女性を「女性リーダー」と位置付け、地域全体で思いを一つにして地域の貴重な財産である女性リーダーを育成してほしい、という願いを込めています。

ハンドブックを手にとった皆さまへ

このハンドブックは、内閣府が2017(平成29)年度から2020(令和2)年度に試行実施した「女性役員育成研修」をもとに作成しました。地方自治体や地域の経済団体・大学等が、地域の実情に応じた研修を企画するにあたり、参考になる情報がたくさん詰まっています。ぜひ、研修の計画立案にご活用ください。また、研修を受講した女性リーダーにもインタビューや座談会でお話を伺い、研修前後の気持ちの変化や、後に続く女性リーダーへのメッセージを掲載しています。読み物としても、お楽しみいただくと幸いです。

このハンドブックがきっかけとなり、全国各地で女性リーダーの育成が進み、多くの女性役員が輩出され、ひいては、経済社会の活性化につながることを願っています。

令和3年3月

内閣府男女共同参画局